

都道府県のへき地医療提供体制に関する調査 御協力のお願い

自治医科大学地域医療学センター長
(研究代表者) 梶井 英治

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年度までの「都道府県へき地保健医療計画の検証ならびに次期策定支援に関する研究」では、お忙しい中、調査や個別訪問などで御協力を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。

さて、今年度から新たに研究事業を実施する「へき地医療において提供される医療サービスの向上とへき地医療に従事する医師の労働環境改善に係る研究」班では、来る人口減少社会と新しい制度の動き（専門医制度や看護師の特定行為の研修制度）に応じたへき地医療提供体制への構築を支援するため、都道府県、市町村、へき地診療所に勤務する医師・看護師に対してアンケート調査を実施することにしました。

主な調査の内容は、「へき地診療所の医療提供体制について」「へき地診療所で勤務する医師のキャリア形成について」「関係者の協力体制の構築について」の3点です。全国規模で、様々な立場の方々が取り組んでおられることが分かれば、今後、それぞれの地域でへき地医療体制を見直す際に、有用な資料になることと思います。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の主旨をご理解の上、ご回答下さいますようお願い申し上げます。

敬具

1. 調査用紙の記入および回収

調査用紙（メールにて送付のエクセルファイル）にご回答の上、〇月〇日（〇）までに下記事務局 e-Mail アドレス宛にお送りください。

2. 個人情報の取り扱い等について

調査内容の分析、結果の取りまとめ等は統計的に処理し、匿名化します。本研究は自治医科大学の倫理委員会の承認を得て実施しております。

3. 調査の実施主体及び調査結果の取りまとめ

本調査は、厚生労働科学研究「へき地医療において提供される医療サービスの向上とへき地医療に従事する医師の労働環境改善に係る研究」班で実施するものです。調査結果は、学会や論文・報告書等において、個人を特定できない形で公表致します。

4. 市町村の担当課に関する情報提供のお願い

ご回答いただいた「へき地を有する市町村」について、調査を依頼する予定です。お手数をおかけしますが、市町村の担当課と連絡先（担当者とE-mail）についても、エクセルファイル（別途メールにて送付）にご回答いただけますようお願い申し上げます。

5. 調査用紙の返送先および調査内容の照会先

<お問い合わせ>

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

こじょう いわさき

自治医科大学地域医療学センター 地域医療学部門（担当：古城、岩崎）

電話：0285-58-7394 e-Mail：dcfm-i@jichi.ac.jp

<苦情相談先>

大学事務部研究支援課（電話：0285-58-8933）

都道府県のへき地医療提供体制に関する調査

回答は、メールに添付したエクセルシートにご入力の上、メールにて返送してください。

1 へき地診療所の医療提供体制（平成 28 年 4 月 1 日現在）について

問 1 都道府県のへき地医療計画上の対象地域をどのように定義していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- a 無医地区
- b 準無医地区
- c へき地診療所（国のへき地保健医療対策実施要綱による）の所在地
- d 過疎地域等特定診療所（国のへき地保健医療対策実施要綱による）の所在地
- e 特例措置許可病院（国のへき地保健医療対策実施要綱による）の所在地
- f 過疎地域自立促進特別法の対象地域
- g 離島振興法の対象地域
- h 山村振興法の対象地域
- i 豪雪地帯対策特別措置法の対象地域
- j その他の法律対象地域（ ）
- k その他都道府県独自の運用（ ）

問 2 都道府県内にあるへき地診療所について、下記の点をお伺いします。

- (1) 診療所名 すべての診療所名をご記入ください。
※へき地保健医療対策等実施要綱にあるへき地診療所を指し、国民健康保険直営診療所を含みます。都道府県によって運用実態が異なる場合は、都道府県のへき地保健医療計画に記載されている診療所をご記入ください。
 - (2) 所在地 各診療所の郵便番号・住所をご記入ください。
 - (3) 週当たりの診療日数を、数字（1日を1、半日を0.5）でご記入ください。
 - (4) 経営形態について、下記から一つ選択してください。
 - a 単独経営
 - b 出張診療所（非常勤）
 - c グループ制による運営※
 - d 公的病院の附属、指定管理
 - e 民間病院の附属、指定管理
 - f 大学の附属、指定管理
 - g その他（ ）
- ※ 複数のへき地診療所を1つのグループとし、グループとして複数の医師を運用することで、グループ内の常設、出張診療所に医師を適宜配置する体制
- (5) 閉院予定の有無をお答えください。
 - a 有 b 無

- a 大学
- b 都道府県
- c 地域医療支援センター
- d 関係者による合議体
- e その他（ ）

(3) 義務期間中の基本的な勤務先について、各卒業年数（3年目～9年目）に、下記から一つ選んでください。

- a 後期研修
- b へき地医療拠点病院
- c へき地診療所
- d その他の医療機関
- e 未定

(4) 新しい専門医制度の基本領域 19 診療科のうち、修学資金貸与者が義務年限内に取得可能な専門医について、当てはまるものすべてに○をつけてください。無い場合は「無」に○をつけてください。

※専門領域については、エクセルをご参照ください。

問7 自治医科大学卒業医師（義務内）のキャリア形成についてお伺いします。

(1) 卒後 9 年間の基本的な勤務先について、各卒業年数（3年目～9年目）に、下記から一つ選んでください。

- a 後期研修
- b へき地医療拠点病院
- c へき地診療所
- d その他の医療機関
- e 未定

(2) 新しい専門医制度の基本領域 19 診療科のうち、自治医科大学卒業医師が義務年限内に取得可能な専門医について、当てはまるものすべてに○をつけてください。無い場合は「無」に○をつけてください。

※専門領域については、エクセルをご参照ください。

3 関係者の協力体制の構築について

問8 将来のへき地医療提供体制の見直しを検討する場について、お伺いします。

(1) 将来のへき地医療体制の見直しを検討する場は、ありますか。

- a 有
- b 無

(2) 「有」の場合：検討する場について、当てはまるもの一つに○をつけてください。「無」の場合：検討することを想定し、最も望ましい場に○をつけてください。

- a へき地医療支援機構
- b 地域医療支援センター
- c 都道府県が設置するへき地保健医療計画を検討する協議会など
- d 市町村、広域連合が設置するへき地保健医療政策を検討する協議会など
- e その他（ ）

(3) へき地医療提供体制を見直す上で、誰のリーダーシップが重要と思いますか。重要と思われる順番（1位～8位）にあげてください。

- | | | |
|------|---------------------|-------------|
| a 住民 | b へき地診療所 | c へき地医療拠点病院 |
| d 大学 | e 市町村 | f 都道府県 |
| g 国 | h その他（ ） | |

(4) へき地医療提供体制を見直す上での課題について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| a 住民の理解 | b へき地診療所の協力 |
| c へき地医療拠点病院の協力 | d 大学の協力 |
| e 市町村長の理解 | f 知事の理解 |
| g 国の理解・支援 | h その他（ ） |

問9 へき地に勤務する医師のキャリアを検討する場について、お伺いします。

(1) へき地に勤務する医師のキャリアを検討する場は、ありますか。

- a 有 b 無

(2) 「有」の場合：検討する場について、当てはまるもの一つに○をつけてください。
「無」の場合：検討することを想定し、最も望ましい場に○をつけてください。

- a へき地医療支援機構
b 地域医療支援センター
c 都道府県が設置するへき地保健医療計画を検討する協議会など
d 市町村、広域連合が設置するへき地保健医療政策を検討する協議会など
e その他（ ）

(3) へき地に勤務する医師のキャリアを検討する上で、誰のリーダーシップが重要だと思いませんか。重要と思われる順番（1位～8位）にあげてください。

- | | | |
|------|---------------------|-------------|
| a 住民 | b へき地診療所 | c へき地医療拠点病院 |
| d 大学 | e 市町村 | f 都道府県 |
| g 国 | h その他（ ） | |

(4) へき地に勤務する医師のキャリアを検討する上での課題について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| a 住民の理解 | b へき地診療所の協力 |
| c へき地医療拠点病院の協力 | d 大学の協力 |
| e 市町村長の理解 | f 知事の理解 |
| g 国の理解・支援 | h その他（ ） |